**事例提出について**

⑤

三つの研修課程（専門研修課程Ⅰ・専門研修課程Ⅱ・主任更新研修）を受講されるにあたって、各研修に事例提出が必要です。事例の提出が無い場合は、受講ができません。

事例提出は研修により視点が違い、①専門研修課程Ⅰは自分の実践事例、②専門研修課程Ⅱは自分の実践事例であり、かつ、多職種連携を行った事例、③主任更新研修は介護支援専門員を指導した事例（他の介護支援専門員の実践事例）です。事例内容については、下記の参考選択表をご覧のうえ、提出予定の事例に当てはまる項目をA～Gの内から選択し、チェックシートに記入してください。（選択する際には、課目名やキーワード例をよく確認してください）

研修申込書とチェックシート両方の控えは必ずとってください。

受講の際には、申込時に報告した内容に沿った事例を提出ください。

**≪参考選択表≫**

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 項目 | 課目名 | キーワード例 |
| A | リハビリテ―ション及び福祉用具の活用に関する事例 | 筋力低下改善・日常運動の強化・リハビリテーション実施・住宅改修・福祉用具利用・外出支援・高齢者の外出先の開発・外出時の休息やトイレについて・機能強化ロボット使用　等 |
| B | 看取り等における看護サービスの活用に関する事例 | 痛みの改善の取組・生活機能低下における対応・死の受容に関する事・緩和療法・葬儀に関する相談対応・遺品に関する相談対応・生きがいの実現・看護サービス利用について・ＡＣＰ・エンディングノート　等 |
| C | 認知症に関する事例 | 初期診断に関する対応・地域ネットワーク構築・認知症の理解・環境変化における対応・行動障がいの取組・認知症治療に関する事・精神疾患における医学的・心理的な状況　等 |
| D | 入退院時における医療との連携に関する事例 | 医療チームへの伝達・介護チームへの伝達・説明責任・難病の取組・医療の活用・入院における介護負担に関する事・入退所におけるコンプライアンスに関する事・高齢者に多い入院を伴う疾患・感染症・退院支援　等 |
| E | 家族への支援の視点が必要な事例 | 家族に疾患がある場合の対応・利用者と家族の受け止め方が違う場合の対応・家族が本人の生活機能に強く影響する場合の対応・家族間の関係性を対応した・家族が就労している場合・ヤングケアラー・８０５０問題　等 |
| F | 社会資源の活用に向けた関係機関との連携に関する事例 | 地域支援・社会資源と特徴と対応・社会資源との連携・社会資源介入と対応・地域特性と社会資源の関係・生活保護制度・成年後見制度利用・虐待事例・障がい福祉サービス利用・地域共生社会　　等 |
| G | 状態に応じた多様なサービス地域密着サービスや施設サービス等の活用に関する事例 | 住み替えの対応・生活機能促進、利用者の主体的な選択に関する対応・説明と同意に関する事・施設サービスの対応・地域密着サービスの対応・定期巡回・随時対応型訪問介護看護・複合型サービス・小規模多機能居宅介護活用・介護保険施設・居住系サービス・サービス付き高齢者向け住宅・住宅型有料老人ホーム　等 |

**≪研修申込・受講にあたって≫**

（１）上記項目A～Gの内２つ以上にチェックが入る事例を2事例ご用意ください。かつ、両方の事例のチェック項目が重複しないようにしてください。選択した項目をチェックシートに明記のうえ、研修申込書とチェックシート両方を提出して、研修を申し込んでください。

(例)　１つめ　「入退院を繰り返し、在宅で看取った事例」　　　チェック項目　□A　☑B　□C　☑D　□E　□F　□G

２つめ　「老健入所のリハビリテーションの活用により、リハビリテーションの専門職との連携を図り、在宅療養を支援した事例」　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　チェック項目　☑A　□B　□C　□D　□E　□F　☑G

（２）申込時に報告した内容にそった事例をご提出ください。

**≪ご注意≫**（１）事例の提出方法等は、実施団体から連絡します。

（２）研修内の演習で、提出された事例を扱いますので、事例は必ず提出していただきます。